

春先

あたたかさが田畑を緑に染める
人の意志がつくった境界に

しかしそれはただの雑草であった
意志なき状況が訪れる

午後、畑仕事を後に
地面を踏む感触の違いに

都市空間を歩いていた
私は媒体なのだと気付かされる

「どちらでもなく、またどちらでもある」といった瑞々しい一瞬
それを「ちからの交換」と捉えよう

今井 貴広